

《平成26年3月23日最終発表会パワーポイント資料》

【三芳町政策研究所】公共交通プロジェクト

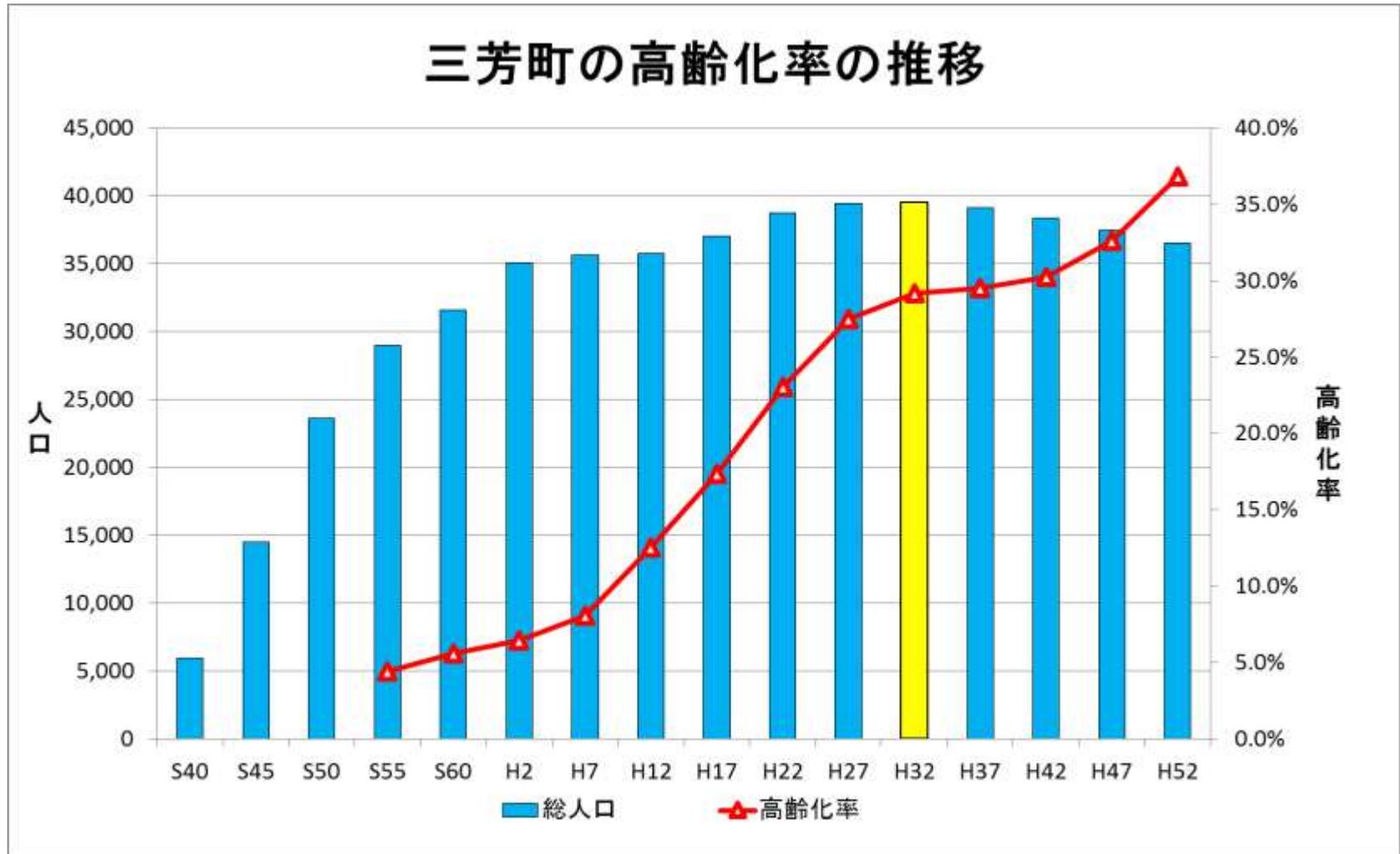
くくるっと

発表内容

- 1 はじめに
- 2 公共交通の現状
- 3 住民の移動傾向
- 4 公共交通の課題
- 5 課題に対する解決策
- 6 試行運転案
- 7 公共交通の将来像
- 8 まとめ

1 はじめに

地域の公共交通を取り巻く環境は、今後さらなる少子高齢社会となり大きな転換点を迎える…



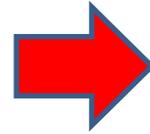
S40～H22 総務省「国勢調査」

H27～H52 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」

1 はじめに

少子高齢社会が地域の公共交通に与える影響は…

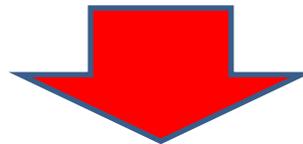
通勤・通学者(利用者)
減少



利用者減による
運行本数の減少



サービス低下による
さらなる利用者減少



利用者減少の負のスパイラルに陥ってしまう。

1 はじめに

現在の道路運送法では、バス事業者は利用者が減少し採算が取れなくなれば、撤退する可能性もある。



公共交通が地域にあることが当然の時代ではなくなってきている。

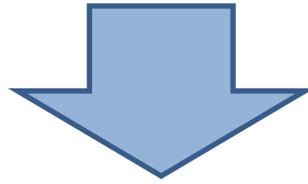
※既に飯能市では民間のバス事業者の撤退が問題になっている。

1 はじめに

なぜ公共交通プロジェクトが設立されたのか…

『公共交通に関するマスタープラン』が策定されていなかった。

※公共交通に関しては対症療法的な施策しかとってこなかった。



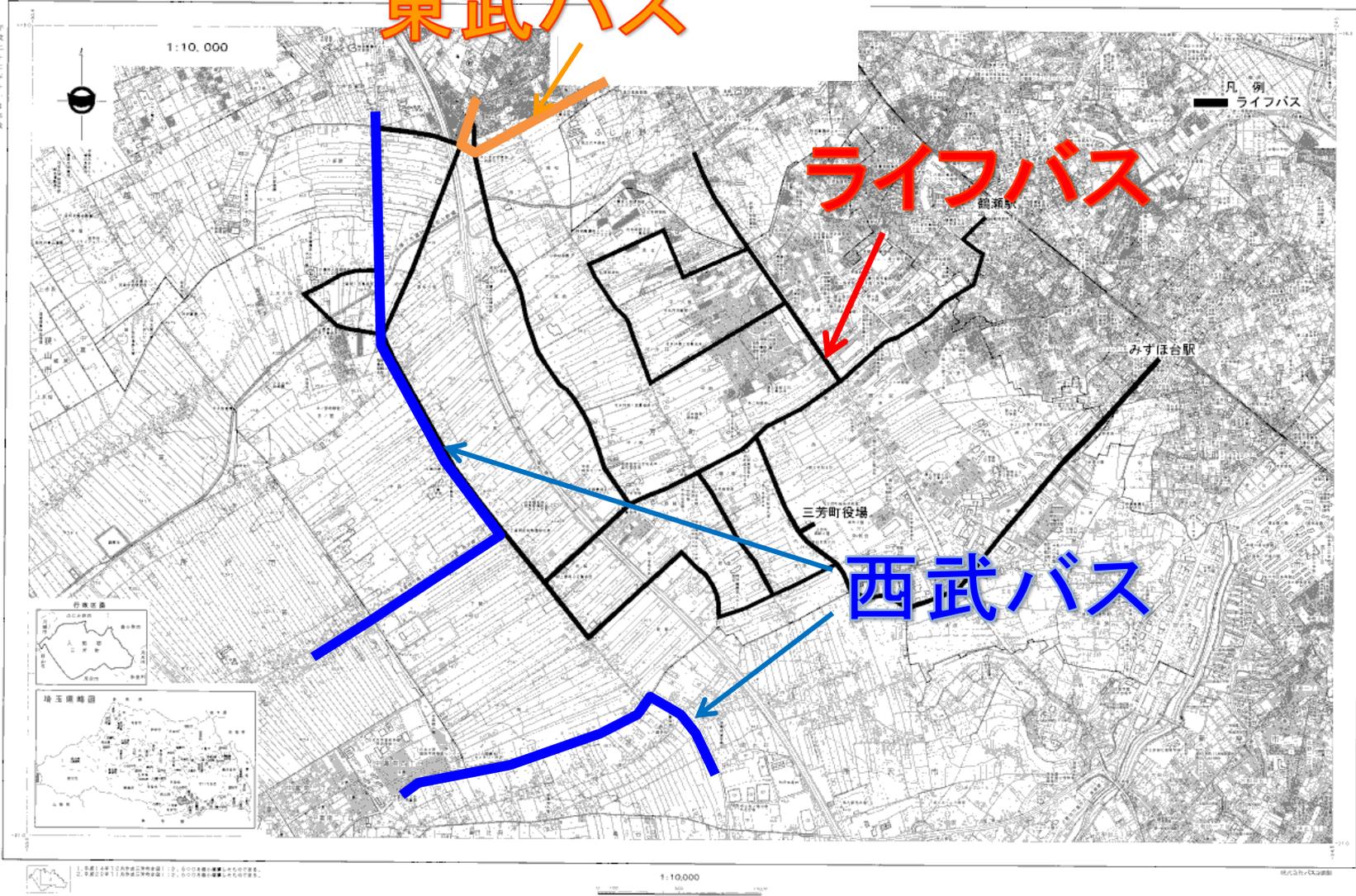
- 現状を把握し、経費や法制度、他の自治体の事例を調査研究
- 長期計画とそこへ至るために直近で行う短期計画を政策提言

2 公共交通の現状

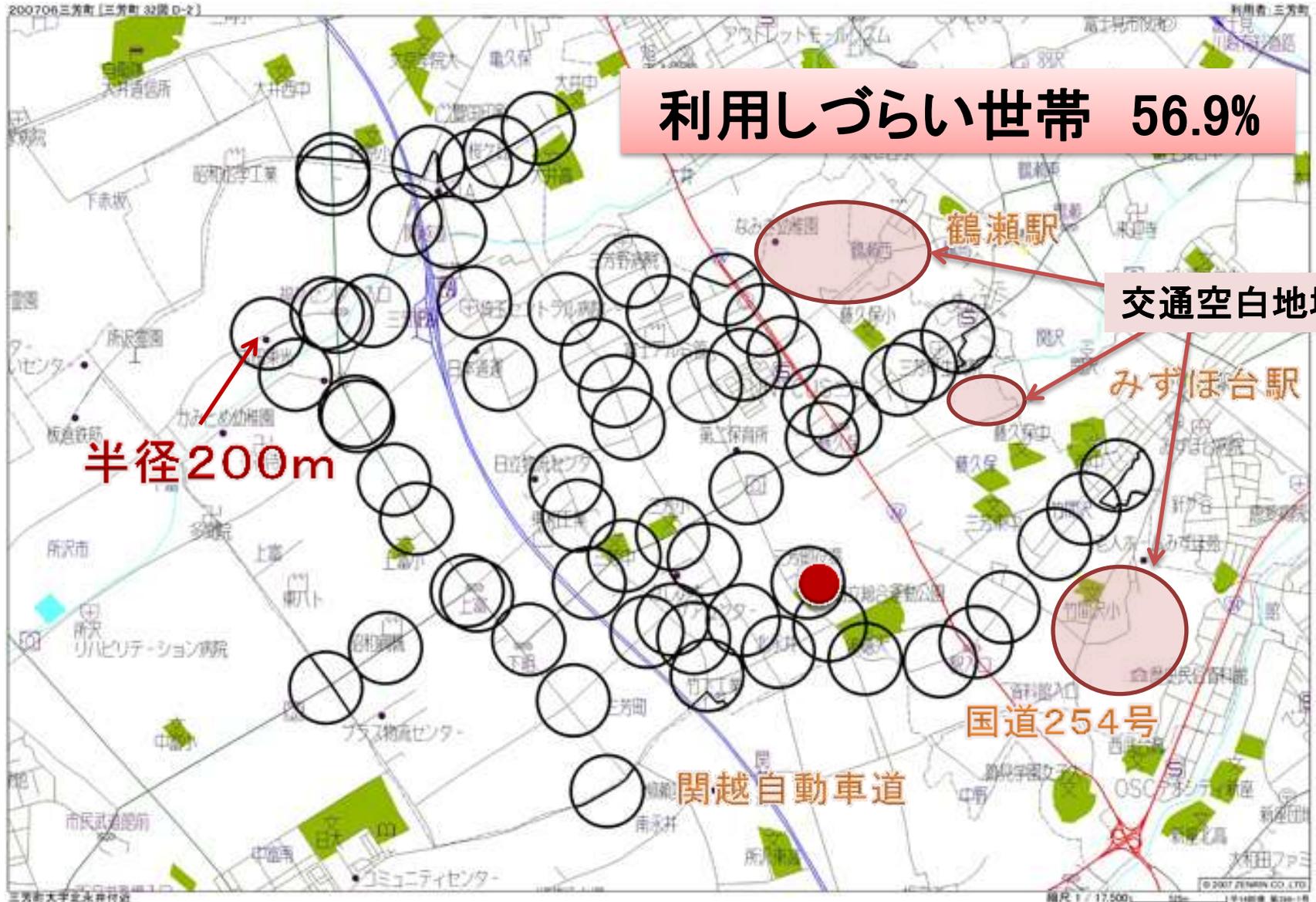
東武バス

ライフバス

西武バス



2 公共交通の現状



3 住民の移動傾向

交通政策の策定には、住民の行動を把握する必要がある。

- ・買い物先
- ・病院
- ・公共施設

日常生活を送るために
必要不可欠な目的地へ
の交通行動の実態把握

アクセスの改善



充実した日常生活の実現

3 住民の移動傾向

町民の普段の行動を把握するための
全町アンケートを実施

全町アンケート概要

(時期)平成24年11月5日～20日

(対象)2,000人

(回答率)43%

全町アンケートから分かった町民の
行動を以下のシートに示す。

買い物 移動先

商業施設は藤久保エリア・駅に集中している

町内各地区から藤久保エリア・駅に向かう

藤久保エリアに行く公共交通機関が無い



三芳市

新庄市

通院 移動先

総合病院は町内に2箇所あり、市街地には無い

多くの方が総合病院に通院している

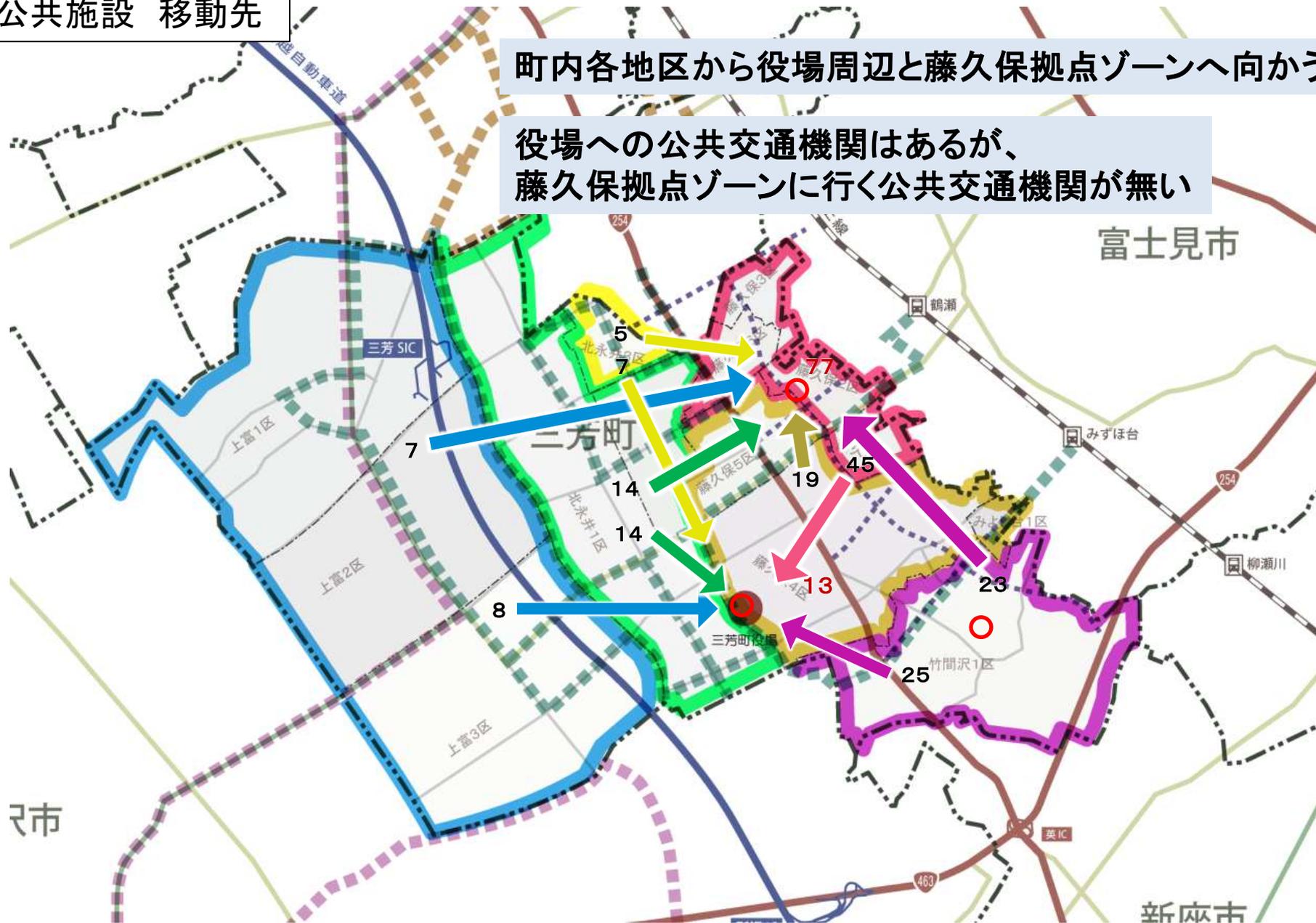
総合病院に通院するための公共交通機関が不十分



公共施設 移動先

町内各地区から役場周辺と藤久保拠点ゾーンへ向かう

役場への公共交通機関はあるが、
藤久保拠点ゾーンに行く公共交通機関が無い

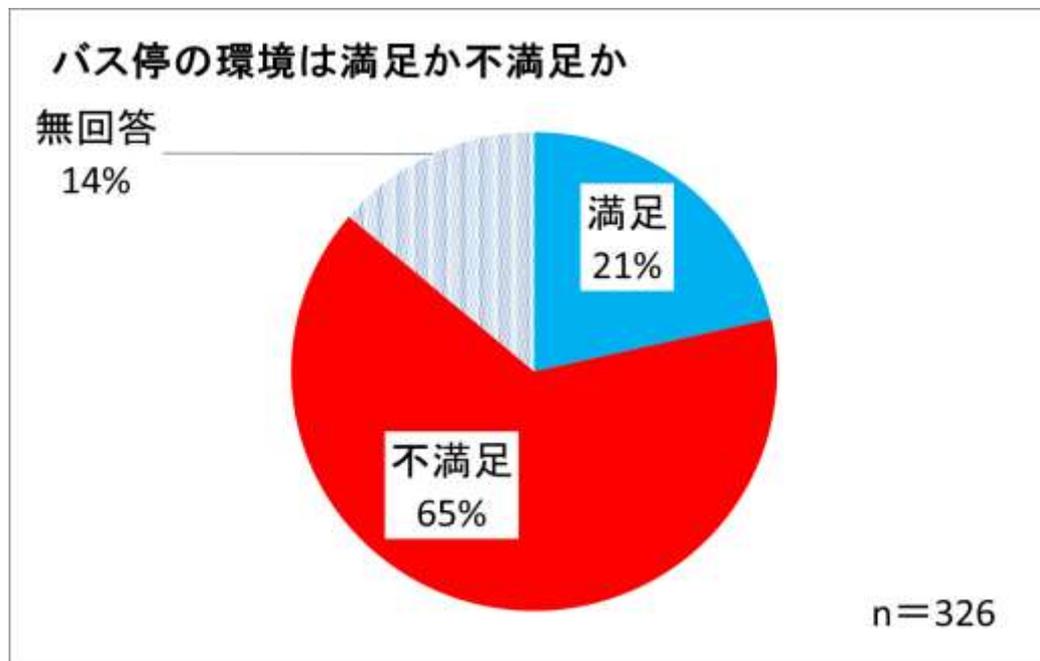


4 公共交通の課題

- 交通空白地域の存在
- 多くの住民が集まる藤久保地区に行くための公共交通機関の不在
- 需要に合っていない公共交通サービス
- 持続可能な公共交通システムの構築の必要性

4 公共交通の課題

- 公共交通環境整備の不足



全町アンケート自由意見

- 案内（料金や路線）が分かりづらい。
- 時刻表を大きな字で表示してほしい。
- バス停にベンチがあると助かる。

4 公共交通の課題

・町内の公共交通周知の不足

全町アンケート自由意見

- ・ どのような公共交通があるか知らない。
- ・ バス路線の一覧が欲しい。
- ・ 広報などで公共交通のことを載せて欲しい。
- ・ 各路線の時刻表を各世帯に配布してほしい。



4 公共交通の課題

- 住民参画の機会の欠如

先進自治体視察（小平市の事例） 市民協働によるコミュニティバス導入



- 地域住民でコミュニティタクシーを考える会を組織し、ルートや停留所位置、ダイヤ、運賃などを検討。
- 行政は財源的支援、法的な助言など。
- コミュニティタクシーの導入機運が高まった地域に対して、コミュニティバス導入。
- 一定の利用者数に達しなければ、撤退もありうるため、地域での周知、商工会と連携を図りながら、利用を促進。

5 課題に対する解決策

① 藤久保地区に繋がる
コミュニティバスの
導入

② 町内全域から藤久保
地区にアクセスしや
すくする。

③ 町内の公共交通の将来像を描き、それに向かって
町の公共交通施策を展開していく。

所沢市

5 課題に対する解決策

- みずほ台駅と鶴瀬駅を結ぶ藤久保地区経由のコミュニティバスの導入
- 地域公共交通会議を利用して既存のバス路線の充実
- デマンド交通の導入



短期計画（試行運転案）の提言

- 10年後の公共交通の将来像を示す



長期計画の提言

6 試行運転案

- (1) コミュニティバス1案
- (2) コミュニティバス2案
- (3) デマンド交通案

6 試行運転案（コミュニティバス 1案）

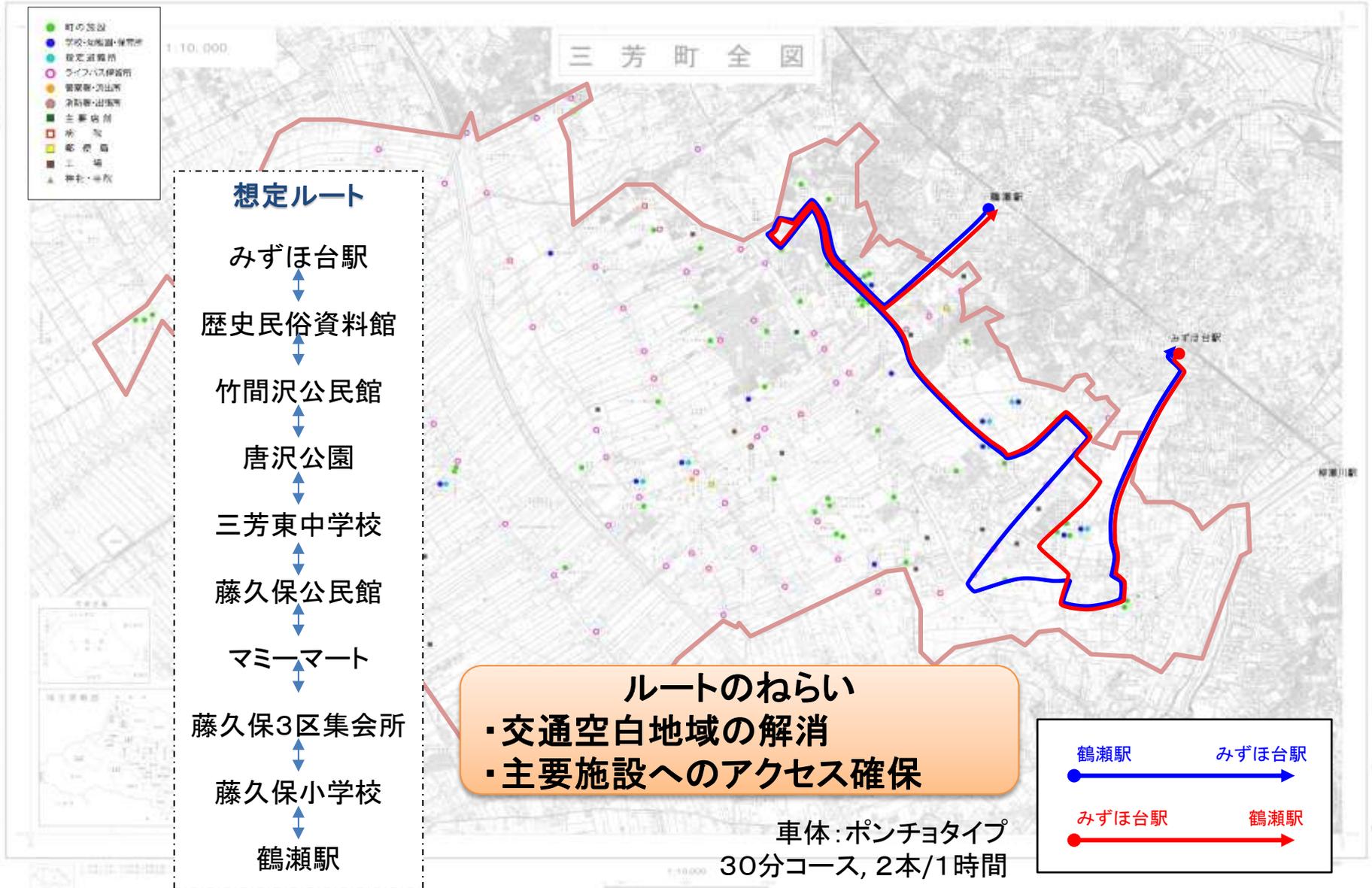
- ミニバス（ポンチョタイプ）を利用した定時定路線バス



ミニバスとは…

全長約7m, 車幅約2m 乗車人数30人前後
数多くの自治体で導入されている車体

6 試行運転案 (コミュニティバス 1案)



6 試行運転案（コミュニティバス 2案）

- ジャンボタクシーを利用した定時定路線バス

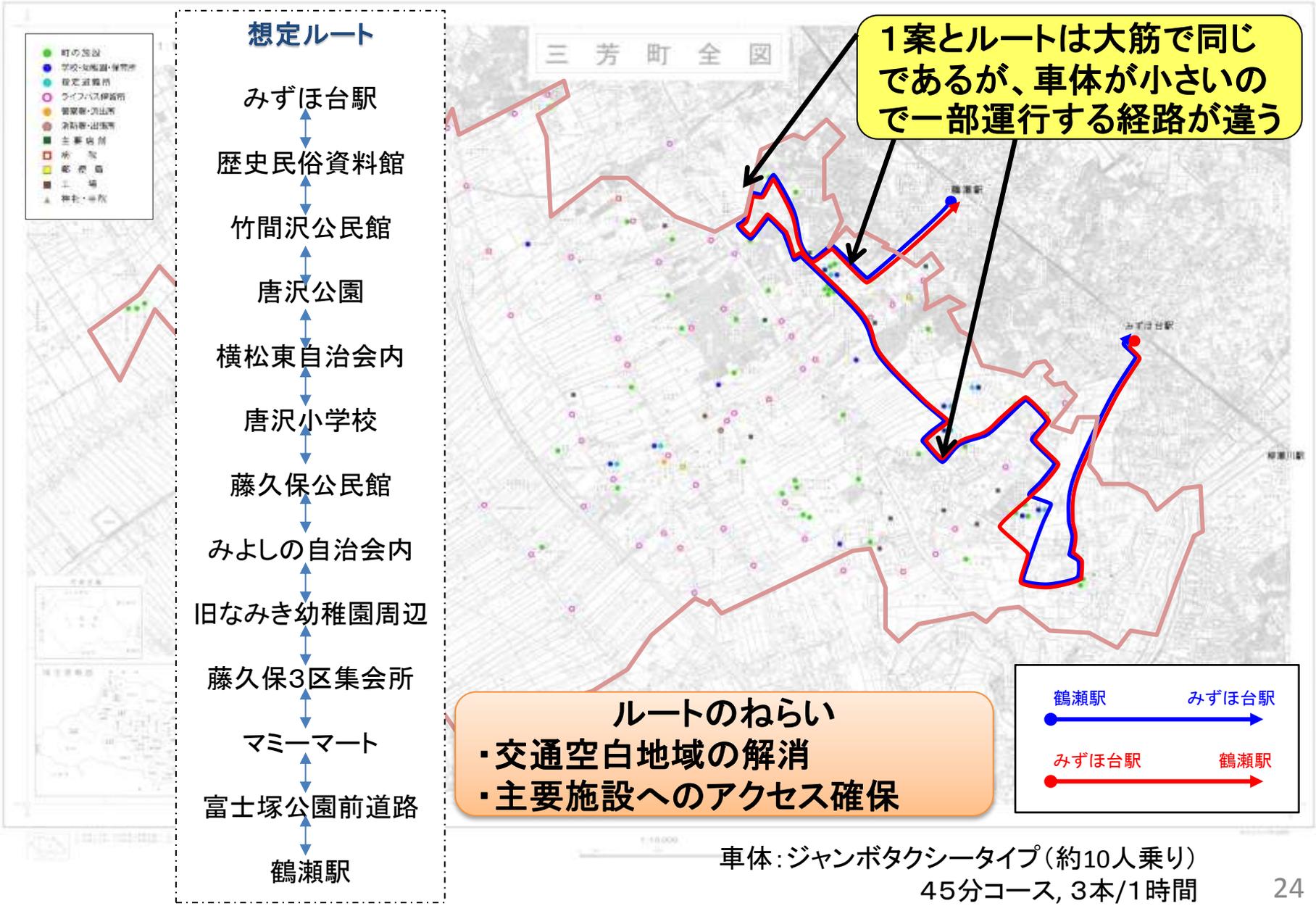


ジャンボタクシータイプとは…

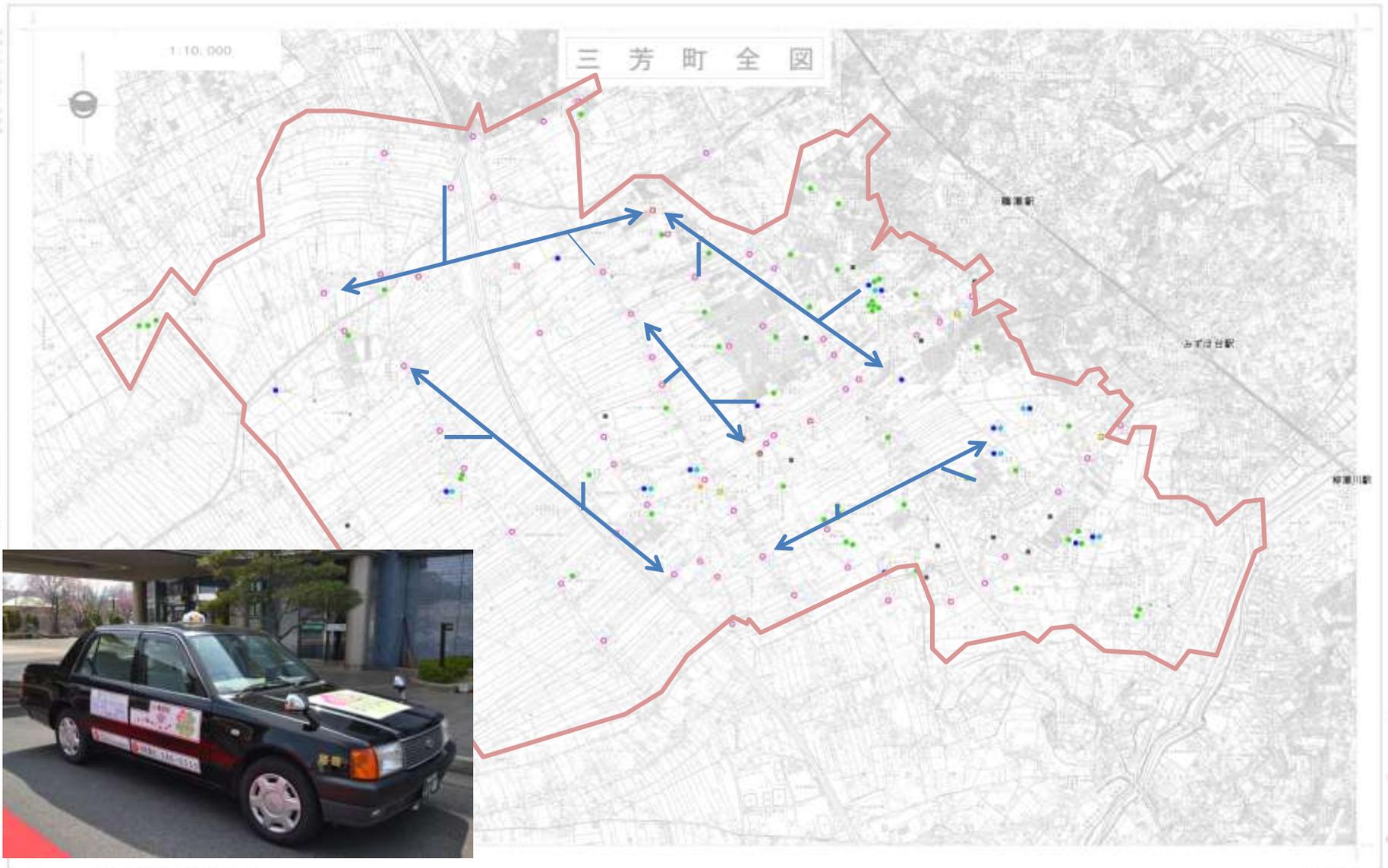
全長約5m,車幅約1.7m 乗車人数10人前後
小金井市や小平市では、このタイプの車両で
定時定路線のコミュニティバスを実現している。

6

試行運転案 (コミュニティバス 2案)



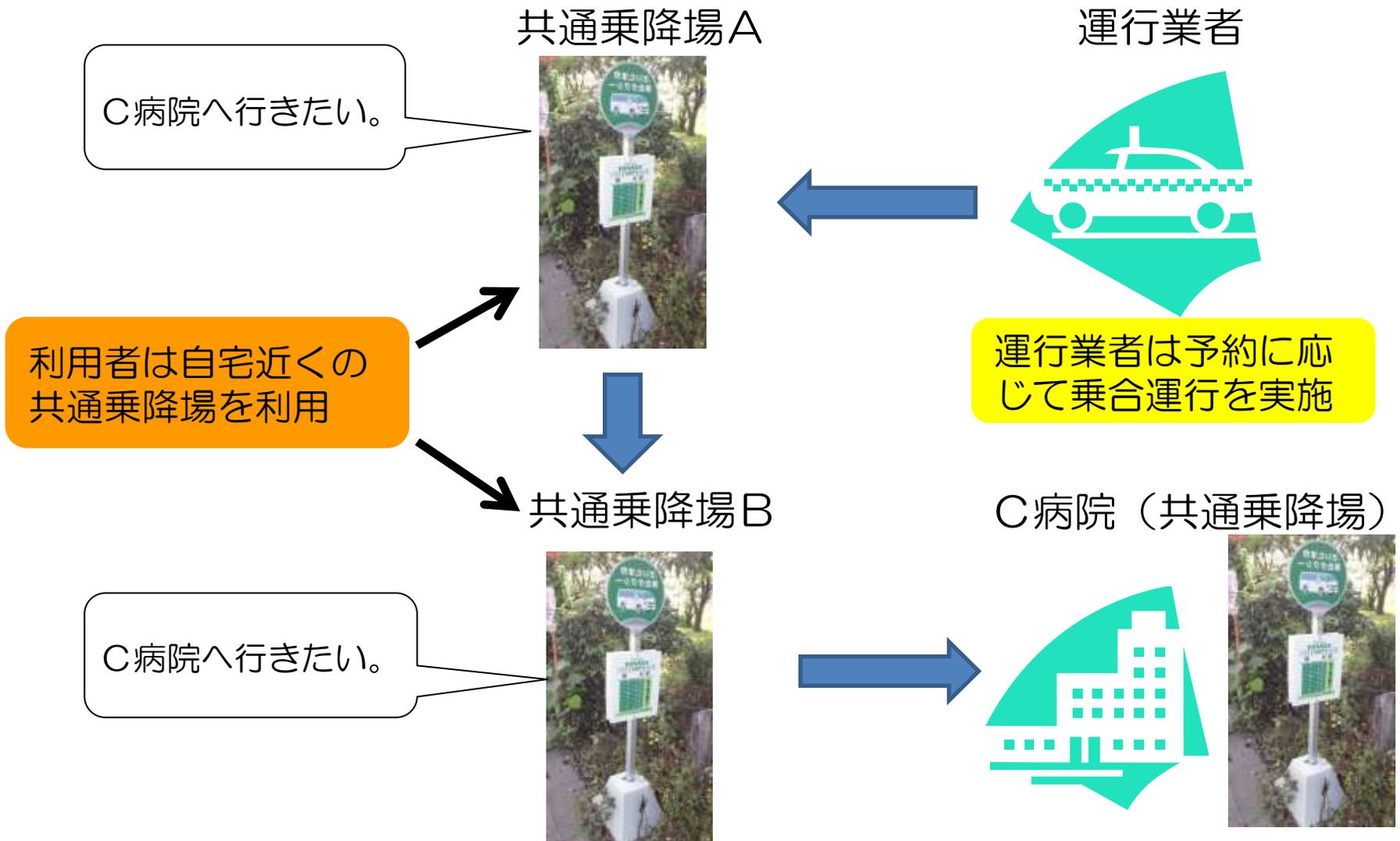
6 試行運転案 (デマンド交通案)



予約 → 共通乗降場 → 同じ方向へ向かう人が乗合 → 共通乗降場

6 試行運転案 (デマンド交通案)

【共通乗降場デマンド交通のイメージ図】



6 試行運転案 (制度の比較)

	比較項目	コミュニティバス1案	コミュニティバス2案	デマンド交通案
1	輸送力	○	△	×
2	乗りやすさ	○	○	△
3	運行の柔軟性	×	×	○
4	全町的な対応	×	×	○
5	交通空白地域の解消	×	△	○
6	来訪者の利用	○	○	×
7	費用対効果	○	△	×
8	競合	○	○	△

6 試行運転案（費用の比較）

試行運転案	3ヵ月間
コミュニティバス1案	1,310万円
コミュニティバス2案	1,580万円
デマンド交通案	1,843万円

※コミュニティバス案

車両代については、戸田市を参考に試算

運行費用については、日本のバス事業（2012）を参考に試算

バス停留所設置費用については、さいたま市を参考に試算

※デマンド交通案

運行業務委託料、オペレーター費用については太田市を参考に試算

配車システム費用については加須市を参考に試算

配車システムについては、導入するシステムにより費用は変わってくる。

6 試行運転案（補助制度）

【国庫補助】

社会資本整備総合交付金制度（効果促進事業）の活用

社会資本整備総合交付金制度の効果促進事業

（補助割合） 50%

（補助期間） 最大5年間

7 公共交通の将来像

- (1) 町内移動の充実
- (2) 公共交通環境の整備
- (3) 公共交通への住民参画
- (4) 公共交通の利用促進
- (5) 持続可能な公共交通システム構築

7 公共交通の将来像

(1) 町内移動の充実

① 公共施設や商業施設が集まっている藤久保地域へのアクセス

公共施設や商業施設が集まっている藤久保地域



多くの人が集まる藤久保地域へアクセスする公共交通機関が求められている。

7 公共交通の将来像

(1) 町内移動の充実

② 公共施設へは公共交通機関でアクセス

③ 総合病院へのバス停留所設置

病院内にあるバス停留所により、通院しやすくなる。



歴史民俗資料館



公共交通機関を利用して公共施設へアクセスできると利便性が向上する。

7 公共交通の将来像

(1) 町内移動の充実

④ 町外へのアクセス向上

⑤ 来町者の利便性向上

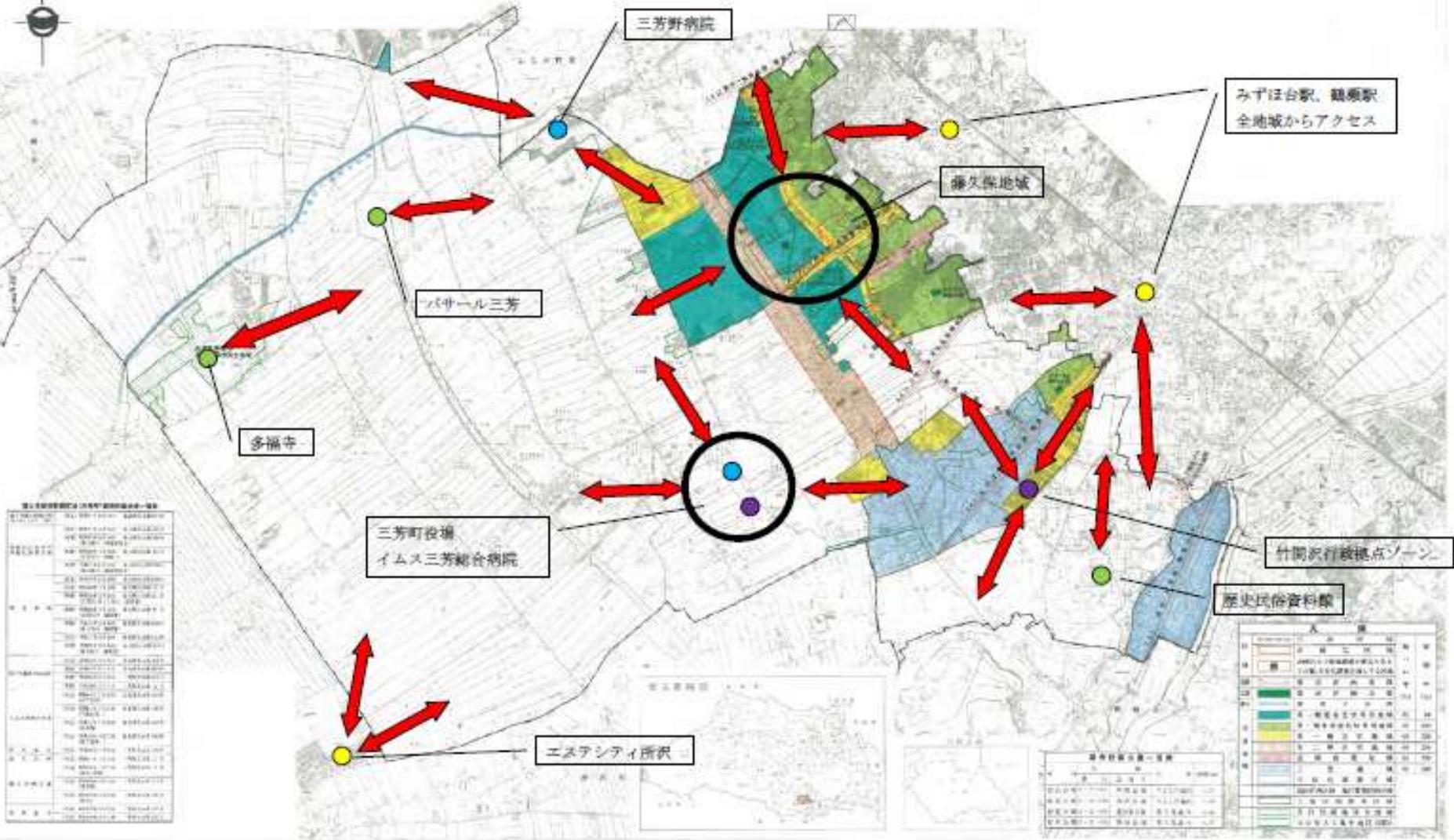
志木駅ロータリーにあるバス発車予定案内板
初めてバスを利用する人でもわかりやすい。

路線番号	発車時間	行先	バス会社
1	先発 19:33	水道道路入口・末無川経由 朝霞駅南口	国鉄バス
	次発 20:05	水道道路入口・末無川経由 朝霞駅南口	国鉄バス
2	先発 19:15	下南畑行	東武バス
	次発 19:30	下南畑行	東武バス
3	先発 19:10	宗岡小学校・秋ヶ瀬橋経由 西浦和車庫ゆき	国鉄バス
	次発 19:20	宗岡小学校・秋ヶ瀬橋経由 浦和駅西口ゆき	国鉄バス
4	先発 19:12	宮・宗岡蓮田経由 中宗岡ゆき	国鉄バス
	次発 19:28	宮・宗岡蓮田・埼玉大学経由 南与野駅西口ゆき	国鉄バス

お知らせ

公共交通の将来像

1 : 10,000



7 公共交通の将来像

(2) 公共交通環境の整備

- ① 幹線道路はバス車両、生活道路はデマンド交通や小型バス車両の利用



7 公共交通の将来像

(2) 公共交通環境の整備

② 最低でも1時間に1本運行

③ バス停留所環境の改善と利用しやすくする工夫

バス停留所の環境を改善することによりバスが利用しやすくなる。



屋根や椅子があるバス停留所（西東京市）



バスロケーションシステムがある
バス停留所（志木駅）

④ 公共交通が通行できる道路整備

7 公共交通の将来像

(3) 公共交通への住民参画

① 住民が公共交通に携わる仕組みの検討

住民（私）の移動手段という意識を持つよう、住民が参加する仕組みをつくることが求められる。



老人クラブ連合会役員会でのヒアリングの様子



戸田市
「tocoサポーター」制度

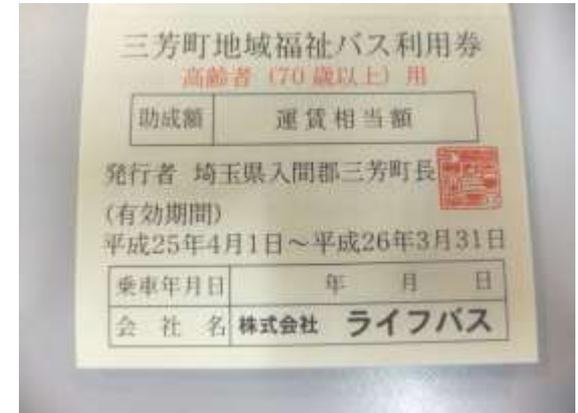
バス停の管理を地域の
住民が担っている。

7 公共交通の将来像

(4) 公共交通の利用促進

- ① 福祉バス券の見直し
- ② 町内の公共交通の周知
新規利用者の確保

福祉バス券



春日部市のバスマップ

町内の公共交通機関を示した、見やすいマップが求められている。

7 公共交通の将来像

(4) 公共交通の利用促進

③ 普及活動

小平市のバス公共交通マップ
「バスの利用方法」
初めてでも使いやすい。

バスのご利用方法

バス車両前面・後面と入口の横に行先表示がありますので、ご乗車の際には必ずご確認ください。

行先表示
行先・経由地表示
行先表示

前扉 中(後)扉

前扉乗車の場合 (運賃先払い)

ICカードでのご利用 現金でのご利用

1 前扉から乗車します

乗車口の運賃箱に運賃を入れます。
※路替により乗務員に行き先を伝える必要があります。

ICカードを読み取り部にしっかり「1秒」タッチします。(タッチすると残高が表示されます)
※路替により乗務員に行き先を伝える必要があります。

2 降りるバス停が案内されたら、ボタンを押します

バス停にバスが完全に停まるまで、移動せずにそのままお待ちください。

中扉から降車します

中扉乗車の場合 (運賃後払い)

ICカードでのご利用 現金でのご利用

1 中扉から乗車します

ICカードを読み取り部にしっかり「1秒」タッチします。(この時点では、運賃は差し引いておりません。)

整理券を1枚取り、降車時の支払いに使用します。始発停留所などは整理券が出ません。その場合はそのまま乗車します。

2 降りるバス停が案内されたら、ボタンを押します

バス停にバスが完全に停まるまで、移動せずにそのままお待ちください。

整理券番号 小平駅入口
0 1 2
170 3 6
運賃

整理券の番号から運賃を確認します。

降車口の運賃箱に整理券と運賃を入れます。

ICカードを読み取り部にしっかり「1秒」タッチします。

前扉から降車します

運賃の年齢区分と扱い方

大人：12歳以上のお客様 (但し、中学生以上)
小児：6歳～11歳のお客様 (但し、12歳の小学生を含む)
幼児：1歳～5歳のお客様 (但し、小学校就学前の6歳を含む)

小児の扱い方
小児の運賃は大人運賃の半額です。端数は10円単位で切り上げます。
(例) 170円区間→85円→90円

幼児の扱い方
大人もしくは小児1人に同伴された幼児は2人まで無賃となりますが、3人目からは小児運賃を適用します。
また、幼児が単独で乗車する場合や団体として乗車する場合は、小児運賃を適用します。

例1
大人 3歳 4歳 0歳 5歳
大人運賃 無賃 無賃 無賃 小児運賃

例2
5歳 4歳
幼児が単独で乗車する場合や団体として乗車する場合は、小児運賃を適用します。

④ 高齢者が運転免許証を返納しやすい仕組みづくり

⑤ 割安な乗車パスの検討

7 公共交通の将来像

(5) 持続可能な公共交通システム構築

① 定期的なモニタリング

公共交通会議や交通審議会を活用した町内の公共交通の定期的なモニタリングを実施する。



三芳町地域公共交通会議の様子



三芳町交通審議会の様子

7 公共交通の将来像

(5) 持続可能な公共交通システム構築

② 事業者との定期的な協議

③ 企業の協力の検討

イムス三芳総合病院の送迎バス



淑徳大学の通学バス



④ 環境への配慮

⑤ 福祉有償運送の検討

7 公共交通の将来像

(5) 持続可能な公共交通システム構築

⑥ 多彩な公共交通の維持

住民が必要に応じて
公共交通機関を選択できる環境

デマンド交通



民間バス



タクシー



それぞれの
公共交通機関の
良さを活かす

コミュニティバス



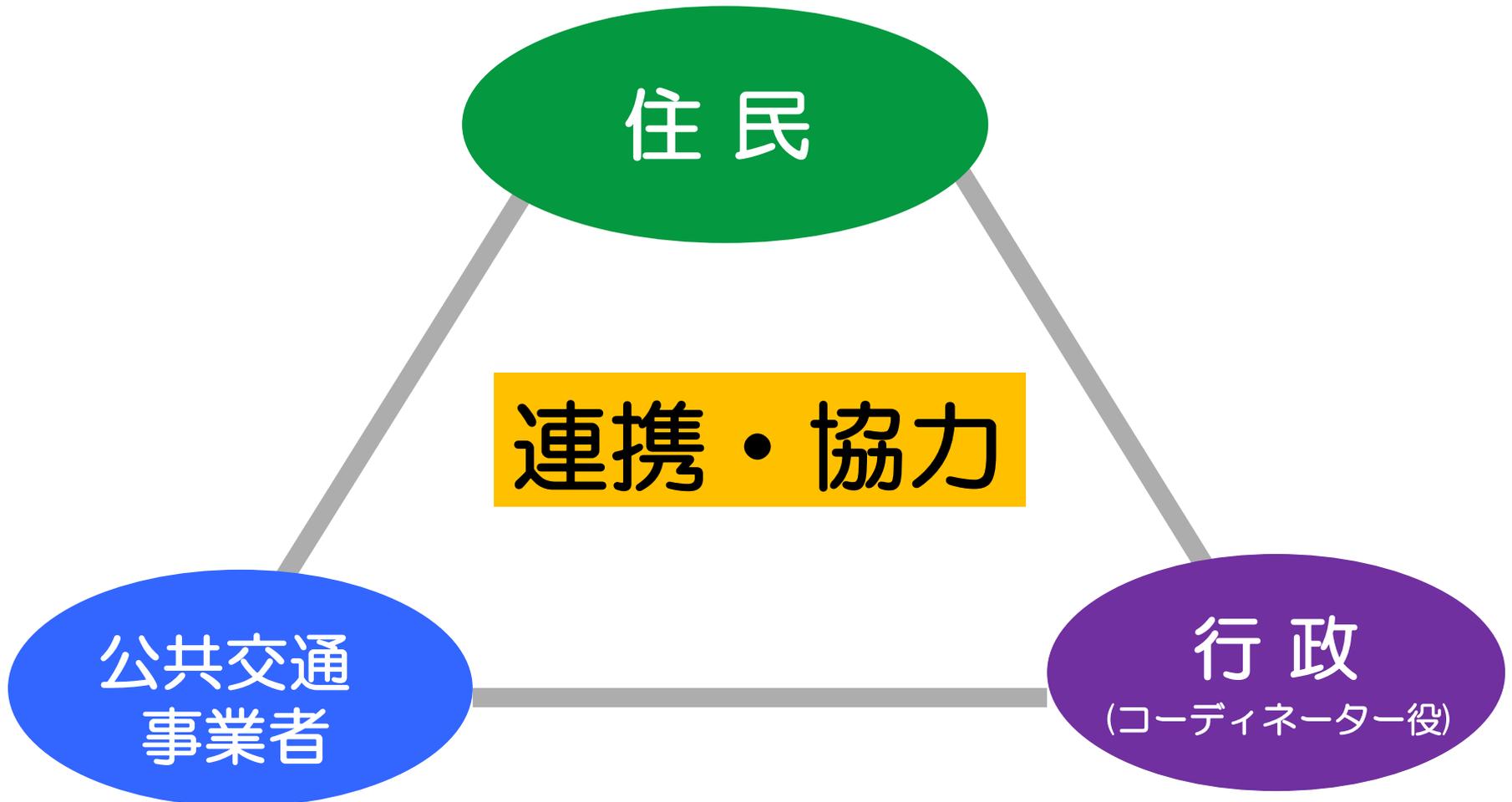
8 まとめ

公共交通プロジェクトの成果

- ① 交通空白地域の把握
- ② 住民の移動傾向の把握
- ③ 公共交通課題を明確化
- ④ 課題に対する解決策の提示
- ⑤ 短期計画（試行運転案）の提言
- ⑥ 長期計画（公共交通の将来像）の提言

8 まとめ

- 今後町内の公共交通を持続、充実させていくためには…



三芳町政策研究所 公共交通プロジェクト

チーム名

ぐるっと

以上、ご清聴ありがとうございました。

